**評価基準**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **項目** | **評価基準** | **A（〇点）** | **B（〇点）** | **C（〇点）** | **D（0点）** | **解説** |
| **態度** | 学生の学習への姿勢や自主性 | 積極的にテキストや資料を使い、他者から助言を得ようとする姿勢。課題達成に向けた意欲が高い。 | 誠実に課題に取り組み、目標達成のために必要なことを順守しているが、自主性にやや欠ける。 | 指示がなければ課題に取り組まず、目標達成に対する意欲が弱い。 | 課題に対する取り組みが全く見られず、積極性が欠けている。 | 学生の自主性や学習への意欲が求められる授業で使用 |
| **演習 (グループワーク)** | 協力性と意見交換の活発さ | 全員が積極的に意見交換し、建設的な議論が行われており、演習が活気に満ちている。 | 全員が意欲的に取り組んでおり、協力的だが、少し活気に欠ける部分がある。 | 一部の意見に偏り、合意なしで進行する場面が見られる。 | 活動が停滞し、一部の学生のみで進行している。 | グループでのディスカッションや協力が重視される授業で使用 |
| **成果物** | アセスメントと看護方法の実践 | 健康問題のアセスメントが詳細かつ適切に行われ、発達段階に合わせた看護方法を考慮できている。 | 健康問題のアセスメントは行えるが、具体性に欠ける部分がある。看護方法の提案にやや欠ける。 | アセスメントが表面的であり、実践方法に具体性が欠けている。 | アセスメントが不十分で、実践方法が適切でない。 | 看護計画作成や症例研究など、実践的な課題を評価する授業に使用 |
| **出席** | 授業参加状況 | 欠席なしで全ての授業に出席している。 | 欠席は3日未満で、授業に遅刻もほとんどない。 | 欠席が3日以上あるが、授業に参加している部分もある。 | 欠席が多く、授業に参加していない。 | 実習や演習など、出席が重要な授業で使用 |
| **時間管理** | 課題の提出期限や時間配分の適切さ | 提出期限を守り、課題に適切な時間を配分している。 | 提出期限を守るが、時間配分に少し問題があり、ぎりぎりで提出することがある。 | 提出期限が遅れることが多く、時間配分が不適切なことがある。 | 提出期限を守らず、課題に対する時間管理が全くできていない。 | 時間管理スキルが求められる授業に適用。特に期限を守ることが重要な課題に使用 |
| **フィードバックへの対応** | 教員からのフィードバックに対する反応 | フィードバックを積極的に受け入れ、改善点を次回に生かしている。 | フィードバックを受け入れ、改善しようとしているが、改善が遅れることがある。 | フィードバックを受け入れず、次回の課題に反映させない。 | フィードバックを全く無視し、改善が見られない。 | フィードバックを生かして成長することが求められる授業に使用 |
| **参加度** | 授業での発言や活動への参加積極性 | 授業中に積極的に発言し、議論に貢献している。 | 発言は少ないが、授業に集中して積極的に学ぼうとしている。 | 発言がほとんどなく、授業に対する興味が低いと感じられる。 | 授業にほとんど参加しておらず、興味が見られない。 | 授業のディスカッションや意見交換を重視する授業に使用 |
| **創造性** | 新しい視点やアイデアを取り入れる力 | 新しいアイデアや視点を積極的に提案し、問題解決に革新をもたらす。 | アイデアはあるが、既存の枠内で問題解決を行うことが多い。 | アイデアが少なく、問題解決において既存の方法に頼ることが多い。 | 創造的なアイデアが全くなく、問題解決において工夫が見られない。 | 創造性が重要な課題、特に新しい方法やアプローチを求める授業に使用 |
| **リーダーシップ** | グループ内での指導や統率力 | グループ内で積極的にリーダーシップを発揮し、メンバーをまとめ、成果を出す。 | グループ内でリーダーシップを取るが、メンバーの意見をまとめるのに時間がかかることがある。 | リーダーシップを取ることが少なく、グループが方向性を欠くことがある。 | リーダーシップを取らず、グループが混乱しがちになる。 | グループワークでの指導や統率を重視する授業で使用 |
| **問題解決能力** | 問題に対するアプローチと解決策の提案 | 複雑な問題にも適切な方法でアプローチし、効果的に解決策を提案している。 | 問題にアプローチはするが、解決策が不十分だったり、結果が期待通りでないことがある。 | 問題に取り組むが、アプローチや解決策が不適切であることが多い。 | 問題解決に向けたアプローチが全く見られない。 | 問題解決能力が重要なケーススタディやシミュレーション、ディスカッションで使用 |
| **自己評価・自己改善** | 自分の強みと課題を認識し、改善に取り組む姿勢 | 自分の強みと改善点を明確に認識し、自己改善に積極的に取り組んでいる。 | 自己評価はできるが、改善に対する意欲がやや足りない。 | 自己評価が不十分で、改善がなかなか見られない。 | 自己評価を全くせず、改善の意識が欠けている。 | 自己改善が重要な場面、特にフィードバックを受けて成長する授業に使用 |
| **社会的責任** | 他者への配慮や社会的な意識 | 他者や社会への配慮があり、積極的に協力し、社会的な問題にも関心を持っている。 | 他者や社会に対する配慮はあるが、積極的な行動には欠けることがある。 | 他者や社会に対して無関心で、配慮が不足している。 | 他者や社会に対する関心が全く見られない。 | 社会的責任が重視される授業や、チームワークが求められる活動に使用 |

**評価基準に関する解説**

* **創造性**: **課題解決型授業**や、学生が新しいアイデアやアプローチを発想する必要がある授業で使用。例えば、**グループディスカッション**や**プロジェクトベース学習**において、創造的な思考を評価する場面に適しています。
* **リーダーシップ**: **グループワーク**や**チーム活動**が求められる授業に使用。リーダーシップ能力を発揮できる場面で学生を評価する際に役立ちます。
* **問題解決能力**: 複雑な課題や**ケーススタディ**を使用する授業で、学生がどれだけ適切に問題にアプローチし、解決策を提案できるかを評価する項目です。
* **自己評価・自己改善**: **実習**や**フィードバックを受けての自己改善**が重要な授業で使用。学生が自分の学びを振り返り、成長する姿勢を評価します。
* **社会的責任**: 他者や社会に対する配慮が求められる授業で使用。特に、**コミュニティ活動**や**社会的なテーマに関するディスカッション**で学生の意識や行動を評価します。